

# ぱーとなー

2009年2月  
第86号

## 耳原総合病院の理念

- **安全・安心・信頼の医療**  
耳原総合病院はこんな医療をめざしています  
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます
- **無差別平等の医療**  
私たちは人権を尊重した医療をすすめます
- **患者負担の少ない医療**  
私たちは室料差額はいただきません
- **地域とともに歩む専門職の育成**  
人権感覚をもつ専門職を養成します

◎ 耳原総合病院の基本方針は「すべての方に24時間365日、質の高い医療を、地域と共に提供し続ける」ことです

## 小児科単独病棟 リニューアルしました!!

1月より、小児科病棟が整形外科・眼科との混合病棟から小児科単独病棟となりました。  
小児科病棟責任医の藤井建一より報告していただきます。

### ●ベッド増床！プレイルームも設置！

このたび耳原総合病院の小児科病棟は、整形外科・眼科との混合病棟から、小児科単独病棟へリニューアルしました。

小児科病棟責任医  
藤井建一

ベ  
ッ  
ド  
数  
も  
、  
1  
8  
床

から30床に増床しています。あらたにプレイルームを設置し、入院中の子どもたちのストレスの軽減をはかります。また、常勤の病棟保育士を配置し、病気だけでなく、患児やその家族の心理的なサポートにも力を注いでいます。入院は、子どもたちにとって苦痛を伴う非日常の世界ですが、付き添いする親にとっても非常に大きな負荷がかかります。その負荷を出来るだけ小さくするように、看護師、保育士を中心に積極的に取り組んでいます。トイレも、親子で一緒に入れるブース、子ども専用のブース、ベビーラックを設置したブ



明るいプレイルームで保育士と遊ぶ、入院中のお子様

ースと工夫を凝らしました。各病室に手洗いを設置し、感染防止にも配慮しました。

病室自体も天井の塗り替えや小児科らしいカーテンに替えるなど、出来るだけ居心地の良い空間をご提供できるように工夫しています。

### ●入院患児の疾患について



入院する子どもたちの疾患としましては、大半が呼吸器の疾患ですが、人工呼吸器や酸素テントを必要とするような子どもたちも病棟で治療しています。また、化膿性髄膜炎や急性脳症といった重篤な病気も、家族のサポートを含めて、リハビリテーション科などとも連携して治療しています。また、重症のアトピー性皮膚炎や喘息の治療をかねた教育入院なども実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

### ●入院のご紹介は・・・



平日につきましては、朝9時から夜22時まで、入院のご紹介をお引き受けしています。病状や感染症の種類によっては、ベッドに空きがなくお引き受けできない場合もありますが、可能な限り出来るだけの対応をさせていただきますので、まずご一報いただければ幸いです。

スタッフ一同、入院してよかったと思われる病棟、紹介してよかったと思われる病棟を目指して参りますので、どうかよろしくお願い致します。

耳原総合病院地域医療室  
電話 072-241-0324  
Fax ①072-241-0208  
Fax ②072-241-0670

☆☆☆FAX (※) もしくはお電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆  
☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆  
☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆  
(※) 診察・検査予約に必要な「診察・入院申込書」「検査申込書」は当院のホームページにも掲示しておりますのでご活用下さい。[エクセル版]と[PDF版]を掲載しています。また、ご一報下さいましたら、送付もさせていただきます。

(当院ホームページアドレス) <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>



カーテンもお子様が好き柄に一新



お風呂もひと工夫♪